

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	東葉高速鉄道株式会社	県所管課	総合企画部交通計画課
代表者	代表取締役社長 吉田 雅一	電 話	043-223-2277
所在地	八千代市緑が丘1丁目1120番地3		
電 話	047-458-0011		
設立年月日	昭和56年9月1日		
ホームページ アドレス	<a href="http://www.tovokosoku.co.jp/">http://www.tovokosoku.co.jp/</a>		
事業内容	1 鉄道による一般運輸業、2 不動産業及び建設業、3 旅行業及び広告業、4 ホテル業及び旅館業、5 遊園地、娯楽施設及び駐車場の経営、6 飲食店及び売店の経営、7 郵便切手、収入印紙、たばこ、酒類、薬品、食料品、日用品及び雑貨類の販売業		

1 出資等の状況(H29.4.1現在)

(単位:千円)

資本金(又は出捐金)	62,600,000
------------	------------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	21,402,000	34.2%	1	
船橋市	15,599,000	24.9%	2	
八千代市	13,699,000	21.9%	3	
東京地下鉄(株)	7,800,000	12.5%	4	
京成電鉄(株)	1,200,000	1.9%	5	
東武鉄道(株)	400,000	0.6%	6	
新京成電鉄(株)	400,000	0.6%	6	
(株)みずほ銀行	284,750	0.5%	8	
三井住友信託銀行(株)	202,400	0.3%	9	
(株)三菱東京UFJ銀行他20者	1,612,850	2.6%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H29.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体		
	県		
	市町村		
	国又は政府系機関		
	民間法人		
その他			

### 3 財務状況

#### (1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	26年度	27年度	28年度
総資産	261,815,565	259,444,150	256,912,625
負債	286,358,092	278,874,444	270,858,139
(うち有利子負債)	278,961,698	272,222,947	265,229,344
純資産	△ 24,542,527	△ 19,430,293	△ 13,945,514
累積損益(利益剰余金)	△ 80,562,527	△ 78,740,293	△ 76,545,514

#### (2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	26年度	27年度	28年度
総収入 (＝売上高＋営業外収益＋特別利益)	15,600,249	16,341,634	16,302,013
経常損益	1,771,283	2,787,840	2,988,889
当期損益	1,262,869	1,822,233	2,194,778
減価償却前当期損益	6,039,371	6,316,980	6,624,306

### 4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	26年度	27年度	28年度
借入金残高	1,760,000	880,000	0
うち県からの借入金残高	1,760,000	880,000	0
うち県以外からの借入金残高			
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高			

※一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 純資産⇒正味財産合計

利益剰余金⇒一般正味財産

〈損益計算書〉 損益計算書⇒正味財産増減計算書

総収入(＝売上高＋営業外収益＋特別利益)⇒総収入(＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額)

経常損益⇒当期経常増減額

当期損益⇒当期一般正味財産増減額

※累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	26年度	27年度	28年度
委託料				
補助金・交付金・負担金	首都直下地震等の大規模地震に備え、鉄道利用者の安全確保のため、空港アクセス路線及び県出資会社等の耐震補強工事に対し、国・沿線市と協調して補助している。		25,238	32,990
合計		0	25,238	32,990

(2) その他

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	26年度	27年度	28年度
利子補給	東葉高速鉄道の経営支援のため、鉄道・運輸機構が実施した利子の一部支払猶予に伴い、鉄道・運輸機構が別途調達する資金に係る利子について、国・沿線市と協調して利子補給している。	92,234	85,556	67,597
税の減免額				
出資金	東葉高速鉄道の経営支援のため、沿線自治体等とともに出資支援を行っている。	1,510,000	1,510,000	1,510,000
貸付金				
上記以外のもの				
合計		1,602,234	1,595,556	1,577,597

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	26年度	27年度	28年度
委託料のうち再委託したもの				
再委託のうち入札によるもの				
再委託のうち随意契約によるもの				

## 6 役職員の状況

### (1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	27年度	28年度	29年度
常勤役員数	4	4	4
うち県退職者	1	1	1
うち県派遣職員	0	0	0
常勤職員数	293	297	298
うち県退職者	2	3	3
うち県派遣職員	0	0	0

### (2) 役職員の平均年収等の状況

項目	27年度	28年度	29年度
役員数(県派遣又は県OB)	4人(1人)	4人(1人)	4人(1人)
役員平均年齢	63歳	62.2歳	62.5歳
平均年収(千円)	11,523千円	11,523千円	11,523千円
職員数(県派遣又は県OB)	292人(2人)	295人(3人)	298人(3人)
職員平均年齢	37.1歳	37.7歳	37.7歳
平均年収(千円)	5,642千円	5,924千円	5,917千円

① 対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)

② 役職員数は実人員を記入してください。

③ 平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

#### ※実人員の考え方

・4月に役員が4人いて、年度途中で2人交替し、年度末に4人であった場合の実人員は4人

・4月に役員が5人いて、10月から1人減り、年度末に4人であった場合の実人員は4.5人

※平成29年度の平均年収については推計となる。

## 7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	委員会等による経営改善
改革方針(概要)	・経営状況を常に検証し、課題の解決等に機動的に対応するとともに、「第5次経営改善計画」に示した財務体質の改善(設備投資の効率化、人件費の抑制等)や運輸収入の確保(沿線集客施設との連携、企画乗車券のPR・新規開発)などの施策が、着実に実行されているか、「東葉高速自立支援委員会」において確認する。
取組状況	・「第5次経営改善改革」に示された安全輸送の確保、財務体質の改善、運輸収入の確保等に努めた結果、平成28年度は、運輸収入は開業以来最高の152億7,500万円となり、当期純利益は21億9,500万円を確保することができた。 ・平成29年度以降は、会社の長期収支推計を検証し、財務体質の改善や関係者の支援のあり方について、引き続き「東葉高速自立支援委員会」で検討していく予定。
その他(特記事項等)	

\* 平成28年4月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。